

例文での―線の語句の意味として最もふさわしいものを選びましょう。

解答欄

- ① これはある種の、誰にでも起こりうる経験なのかもしれない。
- ② 僕が主将を務める野球チームに、足手まどいがあるのだ。
- ③ ぼくはそいつのダメなところをあからさまに言い立てた。
- ④ そして、何かがあれば嘲るような視線をそいつに向けていた。
- ⑤ 哀れみなんていうものは、持ち合わせていなかったのだ。

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
|--|--|--|--|--|

選択肢

ア 邪魔。

イ いろいろある種類の中の一つ。

ウ 人をバカにして笑う。

エ 相手をかわいそうに思う気持ち。

オ 人の見ている前で。おおっぴらに。

問題は裏にも続きます。裏まで
解いてから丸つけをしましょう。

例文での―線の語句の意味として最もふさわしいものを選びましょう。

解答欄

⑥ そいつはそいつで、あっけらかんとしていた。

⑦ せめてあの手この手を使ってでも懸命に成長を目指していたらなあ。

⑧ けれども、そいつは何もしないので僕は啞然としてしまった。

⑨ やはり、この世の中には相容れない人間がいるのだ。

⑩ しかしその考えが、僕のあやまちだった。

選択肢

ア いろいろな方法。

イ あきれてものも言えない状態。

ウ お互いの考え方の違いなどから、双方とも受け入れることが出来ない。

エ まちがえ。人として誤った行動。

オ 重大な場面なのに平然としていること。

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
|--|--|--|--|--|

☆丸つけについて

① 範囲の重要語句の冊子を見る

② 「意味」と照らし合わせて丸つけ

③ 正解ならば○
不正解ならば✓を冊子の語句の横に記入

④ ✓がついたものは後日復習をする

例文での―線の語句の意味として最もふさわしいものを選びましょう。

解答欄

- ① 僕は単に、意地悪をしていただけなのかもしれない。
- ② 自分の思う通りにしてほしくて、威圧的に接していた。
- ③ たしかに、足手まといでいけ好なかったのは事実だ。
- ④ けれど自分と異質な存在だからといってきつくあたってはならない。
- ⑤ 僕は、自分自身をいさめなくてはならないだろう。

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
|--|--|--|--|--|

選択肢

アとても気に入らない。

イ力を使って相手を恐れさせること。

ウ誤りを注意して、改めさせる。

エ相手が嫌がることをする。

オ他とは性質などが異なっていること。

問題は裏にも続きます。裏まで
解いてから丸つけをしましょう。

例文での―線の語句の意味として最もふさわしいものを選びましょう。

解答欄

⑥ そいつは依然としてあっけらかんとしている。

⑦ 今では、彼が委縮していなくてよかった、と思っている。

⑧ 意外かもしれないが、僕は本当にそう思っている。

⑨ 僕は一目散に駆けた、謝りに行くために。

⑩ 潔く、自分のあやまちを認めるのだ。

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
|--|--|--|--|--|

選択肢

ア 予想と結果が違っていること。

イ わき目も振らず一生懸命に走る。

ウ 恐れなどにより体の動きなどが止まってしまったり、
うちちこまったりする状態。

エ さっぱりして、立派。

オ 引き続き。

☆丸つけについて

① 範囲の重要語句の
冊子を見る

② 「意味」と照ら
し合わせて丸つけ

③ 正解ならば○
不正解ならば✓を
冊子の語句の横に
記入

④ ✓がついたものは
後日復習をする

例文での―線の語句の意味として最もふさわしいものを選びましょう。

解答欄

- ① 夜、隣で寝ている弟からうめき声が聞こえてきた。
- ② その日、弟は夕ご飯のときにやたらといらついでいた。
- ③ そのことに私は違和感をもっていたことを思い出した。
- ④ 翌日、うつむく弟に事情をきいてみた。
- ⑤ いわく、野球チームで足手まといになり、主将に冷たくされる、と。

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
|--|--|--|--|--|

選択肢

- ア 苦しそうな声。
- イ 頭をそむける。がっかりしている表情。
- ウ どうにもならなくなりイライラする。
- エ 何かおかしいと感ずること。しっくりこないと感ずること。
- オ ある人物が言うこと。わけ。

問題は裏にも続きます。裏まで解いてから丸つけをしましょう。

例文での―線の語句の意味として最もふさわしいものを選びましょう。

解答欄

⑥ 話しながら、弟はうなだれていた。

⑦ 弟のことだから、練習ではうわべの元気を出していたのだろう。

⑧ けれど、チームへの負い目は感じていたのだろうか。

⑨ 必要以上にうしろめたさを感じてしまったのだ、繊細な弟は。

⑩ もっと鷹揚とすればいいのになあ。

選択肢

ア 悪いことなどをしてしまい、気がとがめる。

☆丸つけについて

① 範囲の重要語句の冊子を見る

② 「意味」と照らし合わせて丸つけ

ウ 迷惑をかけたり世話になったりした人に頭が上がらないような心の負担。

③ 正解ならば○
不正解ならば✓を冊子の語句の横に記入

エ 表面上。

④ ✓がついたものは後日復習をする

オ ゆったりしていること。小さなことにこだわらない様子。

☆丸つけについて

① 範囲の重要語句の冊子を見る

② 「意味」と照らし合わせて丸つけ

③ 正解ならば○
不正解ならば✓を冊子の語句の横に記入

④ ✓がついたものは後日復習をする

例文での―線の語句の意味として最もふさわしいものを選びましょう。

解答欄

① 弟の話はおおむね理解できた。

② 顔をゆがめて話す様子からも弟の気持ちがかがえた。

③ そこには、私の知っている弟の面影は見えない。

④ 弟と主将、どのようにしたら折り合いがつくのか。

⑤ 互いに尾を引くことなく、解決できる方法はないだろうか。

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
|--|--|--|--|--|

選択肢

ア 何かが終わった後でもその影響が残る。

イ だいたい、ある程度。

ウ かつての姿や顔だち。

エ 苦痛な状況に苦しそうな顔をする。

オ 対立するものが、話し合いなどによって解決する。

問題は裏にも続きます。裏まで解いてから丸つけをしましょう。

例文での―線の語句の意味として最もふさわしいものを選びましょう。

解答欄

⑥ 解決方法を考え出した折、家のチャイムが鳴った。

⑦ 野球チームの主将が緊張した面持ちでやって来たのだ。

⑧ 私は主将が何をしに来たのか、すぐに解釈した。

⑨ おのずと、私から弟を呼ぶ声が出た。

⑩ 二人の明るい未来を垣間見た気がした。

選択肢

ア ある気持ちがあられた顔つき。

☆丸つけについて
① 範囲の重要語句の
冊子を見る

イ ちらりと見る。ある事柄からの一面を見る。

② 「意味」と照らし
合わせて丸つけ

ウ 考えに基づいて理解する。

③ 正解ならば○
不正解ならば✓を
冊子の語句の横に
記入

エ 自然と。

④ ✓がついたものは
後日復習をする

オ ちょうど良い機会。

☆丸つけについて

① 範囲の重要語句の冊子を見る

② 「意味」と照らし合わせて丸つけ

③ 正解ならば○不正解ならば✓を冊子の語句の横に記入

④ ✓がついたものは後日復習をする

例文での―線の語句の意味として最もふさわしいものを選びましょう。

解答欄

- ① 旅は人生において必要なものだと言っても過言ではない。
- ② しかも、不自由さを感じる苛酷なものであればあるほどいい。
- ③ 今は、便利なものが過度にある時代だ。
- ④ 自分を楽しませてくれる玩具もその一部だ。
- ⑤ 大切なことは何もなくとも自ら楽しもうとする気概だ。

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
|--|--|--|--|--|

選択肢

ア 物事を積極的に乗り越えようとする強い意志。

イ 言い過ぎではない。

ウ おもちゃ。

エ 多すぎること。

オ 厳しすぎる。つらすぎる。

問題は裏にも続きます。裏まで解いてから丸つけをしましょう。

例文での―線の語句の意味として最もふさわしいものを選びましょう。

解答欄

⑥ 私はある程度の不自由さが大切だと**確信**している。

⑦ 何も**かつて**のような不便な時代に戻ろうと言いたいわけではない。

⑧ ただ、今の状態は決して**かんばしく**ないだろう。

⑨ 現在は「便利さ」「不便さ」の長短が混在する**過渡期**だ。

⑩ 便利なものに**寛容**でありすぎてはいけない、ということだ。

選択肢

ア いい状態ではない。

☆丸つけについて

① 範囲の重要語句の冊子を見る

② 「意味」と照らし合わせて丸つけ

③ 正解ならば○
不正解ならば✓を冊子の語句の横に記入

④ ✓がついたものは後日復習をする

ウ 物事が移り変わっている時代。

エ 絶対にそうであると強く思うこと。

オ 相手の良い点を評価し、悪い点については目をつぶる。

例文での―線の語句の意味として最もふさわしいものを選びましょう。

解答欄

- ① 「自分を見つけないさい」という言葉は氣づまりを与える。
- ② 何を基準にして考えれば正解なのかがわからないからだ。
- ③ 氣の置けない友人といっしょにいるときの自分。
- ④ 関係が希薄な人といっしょにいる自分。
- ⑤ 好きな人の前でつい氣取ってしまう自分。

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
|--|--|--|--|--|

選択肢

ア 人によく思われようと格好つける。

イ きゆうくつで、
ここから抜け出たい気持ち。

ウ 何かを比べる時の一定のもの。

エ 気持ちや意欲、関係などが弱いこと。

オ 安心してつきあえる。

問題は裏にも続きます。裏まで
解いてから丸つけをしましょう。

例文での―線の語句の意味として最もふさわしいものを選びましょう。

解答欄

⑥ 気の利いたことがうまくできなくて落ち込む自分。

⑦ それらのどれもが、貴重な自分自身だ。

⑧ ときには規格外な自分にも出会うだろう。

⑨ そのたびに疑心暗鬼を感じる必要はない。

⑩ どの自分とも絆を結んでいればいいのだ。

選択肢

ア 人に対する心配りができる。

☆丸つけについて

① 範囲の重要語句の冊子を見る

② 「意味」と照らし合わせて丸つけ

③ 正解ならば○
不正解ならば✓を
冊子の語句の横に
記入

④ ✓がついたものは
後日復習をする

イ 何もかも疑い信じられなくなっている状態。

ウ 通常の規定や大きさなどに当てはまらない。

エ つながらい。

オ なかなか得られない重要なもの。